

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2017/10/28 実施)～

参加人数: 7名

台風がまた近づいているとかで空はどんより、いつ雨がふり出すのか。

全体をみわたすと、池のアシ、マコモはかなり茶色になって秋深の模様。ヒメジソはすでに花が終わって実をつけていた。ジュズダマも実、ソクズも花はすでになく、赤い実と腺体がのこる。実が少ないのは鳥がすでに食べたのか？ヤブミョウガの種は黒っぽくなっているものから、まだほんのりで、これから変化しますよというのまで様々の様子。



スジモンヒトリガ



ハマオモトヨトウ

藪の中に入るとクロコノマチョウが姿をみせた。そして次は褐色の長い毛を持つケムシ。今日はムシに詳しいお姉さんも参加しているので、これはスジモンヒトリガの幼虫だと教えてもらう。毒はないとのことで手のひらに乗せて喜ぶ。この後キドクガも見つかったが、これは毒があるので触ると大変だ。ヒガンバナの葉に黒地に白、頭はオレンジのおしゃれな幼虫いた。ハマオモトヨトウだ。

ヤブマメが実をつけていた。ツルマメより少し幅が広いようなサヤだ。そのままにしてしまったが、中のマメはうずら豆の小型だとか。確かめるべきだったと後から思う。

モズ、シジュウカラ、ウグイスの声が聞こえる。アシの間にアオジの声も聞こえると、偶然出会った鳥の専門家が教えてくれた。



ヤブマメの実



セスジツユムシ

セグロセキレイが湿地を横切ってとんでいった。ここで出会うのは久しぶり。向こうの木の上でモズが鳴き始めた。草むらにはセスジツユムシ、オンブバッタ、オオカマキリのタマゴもいくつか見つかった。

シロバナサクラタデ、ボントクタデなどのタデ類の花は終わっていたが、イヌタデの花はびっしりと、まだまだ盛り。

ミゾソバも花は咲いているが、終わりに近い。コブナグサも随分ふえたようであちこちに穂を出している。今日の天候のせいかな穂をすぼめたまま風に揺れていた。秋の風にゆれるとステキなヌカキビも少し褐色になって実をつけている。皮をむくと小さいがキラキラ光る種が見られる。



ヌカキビ（右上は種子）



コブナグサ

カントウヨメナの紫が美しい。ハコベ、カラスノエンドウ、タネツケバナ、ケキツネノボタンなどの葉がひっそりと顔をだしている。ギシギシの葉を穴だらけにしている虫はハグロハバチの幼虫だ。つまむと丸くなってしまふ。



カントウヨメナ



ハグロハバチの幼虫

アカバナを見に行くとすでに種をつけていた。そして周りの草にアメリカネナシカズラの黄色の弦が巻き付いて、白い花もさいている。今回もみんなで退治をするがなかなかやっかいな草だ。



アメリカネナシカズラの花



キイロテントウ

ミゾソバの葉上でキイロテントウを見る。テントウムシにこんなきれいな黄色いのあるとは知らなかったの、おどろく。

かわいらしいオメメが、と思ったらそれは模様で目はちゃんと頭の部分についていた。他にダンダラテントウ、ナミテントウなども見つかりテントウムシにもいろいろ種類があることを知る。エサキモンキツノカメムシ、ハサミツノカメムシ、とカメムシの仲間も見つかった。

それぞれの分野に詳しい方の参加が複数あったおかげで今日も楽しい観察会になった。雨もふらずにやれやれ。



ダンダラテントウ



図鑑を見ながらテントウムシの観察

11月の湿地の観察会は、、、

11月19日（日）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2017年11月・12月)～

2017/11/19 参加人数: 4名

昨日の雨は上がったが、風が強い。今日は寒そう。トウカエデがすっかり秋色になった。

湿地は全体に枯草色。そのなかでオニノゲシが花をつけていた。そしてカントウヨメナはまだ色が鮮やかだ。イヌタデの花も実もまだまだしっかり残って存在感を示している。ハキダメギクはひっそりとだが花をつけている。ヒメジソは実のなごりのようなサヤがあらこちらに残ってめだっている。秋もそろそろ終わりに近い。



ジュウガツザクラ



コナラの木についたイモムシ

見上げると紅葉しかけたカラスザンショウは黒い実をぶらさげ、シロダモは赤い実をつけている。そして十月サクラがほぼ満開で色をそえてくれたが春のサクラに比べると随分ひかえめだ。うっかりすると見過ごしてしまいそう。

コナラの木にはヨコヅナサシガメの幼虫がかたまっている。それを見ていたら3cmくらいのケムシがびっしり固まって模様のようにになっているのがみつきり、そしてその横にはカメムシらしき虫もいた。

図鑑と照らし合わせてクヌギカメムシか?と。横腹の気門らしきものをたしかめたら、黒くないのでヘラクヌギカメムシだろうと思われる。このコナラの木はいろいろな虫が集まる場所で、普段あまり気にしていない虫なんかも観察される。しばらくとどまっていたらカメムシ独特のくさ〜い臭いもしてきた。あーだ、こーだと緑色のカメムシにちょっかいを出しすぎたらしい。コバネイナゴ、オンブバッタも枯草の中にひそんでいるが、少々元気がないようで、簡単につかまえる事ができた。



ヘラクヌギカメムシ

アシの茂みからは盛んにウグイスとアオジの声がする。姿は見つからない。するとコサギが1羽とんできた。カルガモも7羽ほど集まっている。水の真ん中あたりの枯草にはハクセキレイもとまりチョコチョコと動いていた。

広場に上がると風は収まり青空がのぞいた。キリの木には茶色い蕾がついている、落ちている今年の実を割って、小さな種をとばしていたら、そこへシジュウカラの群れがとんできた。続いてメジロ、ヤマガラもやってきてしばらく賑やかな様子を見せてくれた。



青空に映えるオギ



ニシキの赤い実

2017/12/23 参加人数: 7名

空は青空、風もなく今日は絶好の観察日和だ。

目のまえをダイサギがゆらゆらとんで、川向うの駐車中の車の屋根にちょこんと止まった。

冬枯れの湿地で今日はなにを観察できるのかな?などと話ながら進む。落葉樹はすっかり葉が落ちて地面に積もっている。落ち葉の下に覗く植物はタネツケバナ、セリ、ハルジオン、カキドオシ、ヘビイチゴ、ムラサキケマンなど。



冬枯れの湿地



池に張った氷

シロダモの赤い実、ヤブミョウガの青い実もおちている。田んぼの畦、日当たりの良いところではオオイヌノフグリ、タンポポがそれぞれ一輪ずつ咲いている。茶色のなかに見られる花の色は楽しい。刈られて広々とした湿地のなかに立つハンノキはオバナをびっしりつけており存在感十分だ。



シロハラがとまった木



セグロセキレイ

山側の木々の間から「キョッ、キョッ」と鳴き声が、見るとシロハラだった。枝のかなり上のほうだ。そのまま見ているとヤマガラ、ジョウビタキ、メジロ、なども集まっていた。アシの中にはシジュウカラ、スズメが入り、群れている。そこにエナガもきた。そしてだんだん山側の木に移り、しばらく遊び、やがてとんでいった。広場にはセグロセキレイもやってきた。草の上を歩いたり、池の枯草にとまったりしている。セグロは2羽で来ていた。以前にはここでハクセキレイ、キセキレイそしてセグロと3種類同時にみかけることもあった。今日やってきたのはセグロセキレイだけだったが見られてよかった。最近市街地でもハクセキレイはよく見られるがセグロはなかなか見られないような気がする。

これで猛禽が舞ってくれれば最高なのに、残念ながらタカは現れなかった。

上の広場でも鳥を期待したが、ウグイスの地なきのみ。今年はコブシが沢山花芽をつけている。梅もたくさん蕾がみられる。



ロウバイにハラビロカマキリ

ロウバイはどうかと見にいったら、まだ枯れかかった葉を一杯つけており、枝にはかなりふくらんだ蕾が見られた。かすかにロウバイの香りもする。上のほうにはハラビロカマキリがとまって日向ぼっこをしていた。梅、ロウバイなどは剪定の対象として「この枝はどうか？」などと話はずんでいた。

朝は相当気温が低く池の氷もびっしりと張っていたようだが、日が高くなるにつれて暖かくなった。落ち葉の下の霜柱もとけだして、地面がかなりゆるくなってきた。

1月の湿地の観察会は、、、

1月27日(土)

9:30 駐車場集合 (小雨決行) です。

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/1/27 実施)～

参加人数 8名

この冬一番の寒さが続き今週初めに降った雪がまだ残っている。

空は青いが強い風がふいており、それがまた冷たい。さて今日のお楽しみは何だろう。

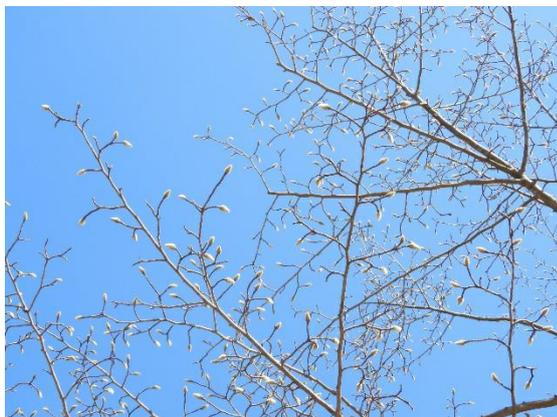
いつもの通路からアオジの声が聞こえるなと思ったら、目の前のアベリアの先にとまった。

カンカンに凍った遊歩道、池にもしっかり氷が。草類は雪の下になってしまっている。

そこで目につくのは立ち枯れたヒメジソ。常緑樹のシラカシ、シロダモなどは雪の中でも健在だ。



湿地の北側はまだ雪に覆われていた



コブシは蕾をたくさんつけていた
今年は花をたくさんつける当たり年か？

葉のすっかりなくなったミズキの枝先には赤い芽がたくさんついていて、一つだけめくってみるとなかには緑色した葉が準備されて



いた。コブシ、ニワトコの花芽もふくらんで春をまっている。

←左の3人が立っているのは池の上！

ユキヤナギの生垣に白いものがいっぱい見られ、何だろう、カイガラムシだろうか。虫のお姉さんが手にとって脚が見えると教えてくれた。確かに黒い脚らしきものが6本見えた。これはイセリヤカイガラムシというカイガラムシの一種のようだ。



イセリヤカイガラムシ



ナガコガネグモの卵のう

クモの卵のうらしきものもあり、なかにはピツシリ白い卵と動くものがあり、どうもナガコガネグモの卵のうらしい。桜の木にくぼんだ所にも白い糸にくるまれた薄紫色のジョロウグモの卵が見つかったが、鳥かなにかにつつかれたあとだった。オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリの卵も見られた。



ナガコガネグモの卵のうの中身
すでにふ化しているものも！！



サクラの幹にあったジョロウグモの卵のう
こちらはふ化はしていなかった。

広場への階段を上がっていると陽だまりにアオカメムシの一種か？緑色の虫がじっとしている。冬枯れのなかでの緑色はかなり目立った。においもほんのり、カメムシだ。

ロウバイは黄色い花をびっしりつけて良いにおいをさせていたが、先月あんなにあった葉はすっかりなくなっていた。もちろんカマキリ君の姿もなかった。



アオカメムシの一種、ツヤアオカメムシか？



上富士川に避難中？のコガモ
横のツララもすごい！

凍った池の表面に強い風に飛ばされたハンノキのタネがたくさんのもっている。カルガモ、コガモなどの水鳥は凍った池をさけ、上富士川にたまっていた。アシの間にシジュウカラがあそんでおり、そのうちにエナガもやってきて、アシとコナラの木の間を行ったり来たりしているが、キジバト以外大きな鳥はなかなか現れない。風が強いせいかな。広場にもヒヨドリ、ツグミ以外の鳥影は見えない。

しかし、空堀を下っていると、コゲラ、そして目の前にルリビタキの♂がやってきた。日があたると背中が美しく、みんなで見とれてしまった。去年は♀を見たが今年♂。これからも根木内に毎年来てくれるといいね。寒い、冷たい日だったが最後に美しいご褒美をもらった。



ロウバイの花



美しいご褒美・ルリビタキ



小さい！かわいい！エナガ

2月の湿地の観察会は、、、

2月25日（日）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。

お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/2/25 実施)～

参加者: 6名

春の兆しを感じられるかなと期待していたが、朝から曇り空で何となく寒そうな様子。アシの茂みからは鳥の声が聞こえる。シジュウカラだ。そして田んぼの畦にはアオジが2羽戯れていた。カルガモは10羽あまり、池で遊んでいる。先月は凍っていた池も今日はたっぷり水をたたえている。そろそろアカガエルの卵塊がみられるはずだと目をこらすが、水が深いせいか見つからなかった。春になって小さなアカガエルの子供が草むらでピョンピョンはねるのを期待したいのだが、今年はどうだろうか。



少し渋みのある緑のムラサキケマン

鳥はカワウ、アオサギ、ムクドリ、スズメ、ツグミ、エナガ、コゲラ、ヒヨドリなどが見られた。散歩にきていた親子からカワセミがいると教えてもらう。川側にいた。アシの間にモズ（優しい顔のモズコさん）やぶの中にはウグイスも観察できた。ルリビタキは現れなかった。今日は散歩の人が多から、隠れているのだろうか。

地面は茶色一色に見えるが、そのなかでもムラサキケマンの少し渋みのある緑、そして一面に広がるかわいらしい草はなにかとみればヤエムグラ、柔らかそうに見えるが触ってみると少しザラツとする。確かにヤエムグラだ。別の場所ではカキドオシが葉を一杯広げていた。オドリコソウ、ホトケノザも少しだが咲いていた。陽ざしがないのでオオイヌノフグリは青い花びらを閉じている。そのそばにはタネツケバナの可憐な白い花が開いていた。種もみの準備をする時がきたよと知らせているのだろうか。



見た目は柔らかそうなヤエムグラ



ニワトコはすつとのびた枝に丸い葉目がポコポコとついている。あふれるような生命力を感じられる葉芽だ。コブシの芽も随分ふくらんで春を待っている。馬酔木（アセビ）の花は日当たりのよさそうな所ではすでに咲いていた。広場では紅梅は満開、白梅もかなり咲いてかすかに良い香りがした。

←生命力を感じられるニワトコの芽

空堀のそばにたつムクノキ、木肌がボロボロになっているが、よく見ると日当たりの良い方はボロボロに剥けているのに、日陰になる側はむけていない。この違いは日当たりによるのだろうか？曇った空を見ながらフト思った。

今日の根木内はまだ冬、少し春といったところでしょうか。陽ざしが弱いせい、何となく寂しい観察会だった。



コブシのふわふわの芽



紅白の梅



ムクノキの木肌がボロボロなのはなぜ？

3月の湿地の観察会は、、、

3月24日（土）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/1/27 実施)～

参加人数 8名

この冬一番の寒さが続き今週初めに降った雪がまだ残っている。

空は青いが強い風がふいており、それがまた冷たい。さて今日のお楽しみは何だろう。

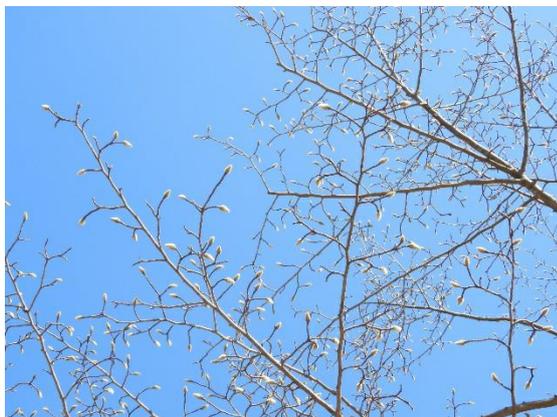
いつもの通路からアオジの声が聞こえるなと思ったら、目の前のアベリアの先にとまった。

カンカンに凍った遊歩道、池にもしっかり氷が。草類は雪の下になってしまっている。

そこで目につくのは立ち枯れたヒメジソ。常緑樹のシラカシ、シロダモなどは雪の中でも健在だ。



湿地の北側はまだ雪に覆われていた



コブシは蕾をたくさんつけていた
今年は花をたくさんつける当たり年か？

葉のすっかりなくなったミズキの枝先には赤い芽がたくさんついていて、一つだけめくってみるとなかには緑色した葉が準備されて



いた。コブシ、ニワトコの花芽もふくらんで春をまっている。

←左の3人が立っているのは池の上！

ユキヤナギの生垣に白いものがいっぱい見られ、何だろう、カイガラムシだろうか。虫のお姉さんが手にとって脚が見えると教えてくれた。確かに黒い脚らしきものが6本見えた。これはイセリヤカイガラムシというカイガラムシの一種のようだ。



イセリヤカイガラムシ



ナガコガネグモの卵のう

クモの卵のうらしきものもあり、なかにはピツシリ白い卵と動くものがあり、どうもナガコガネグモの卵のうらしい。桜の木にくぼんだ所にも白い糸にくるまれた薄紫色のジョロウグモの卵が見つかったが、鳥かなにかにつつかれたあとだった。オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリの卵も見られた。



ナガコガネグモの卵のうの中身
すでにふ化しているものも！！



サクラの幹にあったジョロウグモの卵のう
こちらはふ化はしていなかった。

広場への階段を上がっていると陽だまりにアオカメムシの一種か？緑色の虫がじっとしている。冬枯れのなかでの緑色はかなり目立った。においもほんのり、カメムシだ。

ロウバイは黄色い花をびっしりつけて良いにおいをさせていたが、先月あんなにあった葉はすっかりなくなっていた。もちろんカマキリ君の姿もなかった。



アオカメムシの一種、ツヤアオカメムシか？



上富士川に避難中？のコガモ
横のツララもすごい！

凍った池の表面に強い風に飛ばされたハンノキのタネがたくさんのもっている。カルガモ、コガモなどの水鳥は凍った池をさけ、上富士川にたまっていた。アシの間にシジュウカラがあそんでおり、そのうちにエナガもやってきて、アシとコナラの木の間を行ったり来たりしているが、キジバト以外大きな鳥はなかなか現れない。風が強いせいかな。広場にもヒヨドリ、ツグミ以外の鳥影は見えない。

しかし、空堀を下っていると、コゲラ、そして目の前にルリビタキの♂がやってきた。日があたると背中が美しく、みんなで見とれてしまった。去年は♀を見たが今年♂。これからも根木内に毎年来てくれるといいね。寒い、冷たい日だったが最後に美しいご褒美をもらった。



ロウバイの花



美しいご褒美・ルリビタキ



小さい！かわいい！エナガ

2月の湿地の観察会は、、、

2月25日（日）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。

お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/2/25 実施)～

参加者: 6名

春の兆しを感じられるかなと期待していたが、朝から曇り空で何となく寒そうな様子。アシの茂みからは鳥の声が聞こえる。シジュウカラだ。そして田んぼの畦にはアオジが2羽戯れていた。カルガモは10羽あまり、池で遊んでいる。先月は凍っていた池も今日はたっぷり水をたたえている。そろそろアカガエルの卵塊がみられるはずだと目をこらすが、水が深いせいか見つからなかった。春になって小さなアカガエルの子供が草むらでピョンピョンはねるのを期待したいのだが、今年はどうだろうか。



少し渋みのある緑のムラサキケマン

鳥はカワウ、アオサギ、ムクドリ、スズメ、ツグミ、エナガ、コゲラ、ヒヨドリなどが見られた。散歩にきていた親子からカワセミがいると教えてもらう。川側にいた。アシの間にモズ（優しい顔のモズコさん）やぶの中にはウグイスも観察できた。ルリビタキは現れなかった。今日は散歩の人が多から、隠れているのだろうか。

地面は茶色一色に見えるが、そのなかでもムラサキケマンの少し渋みのある緑、そして一面に広がるかわいらしい草はなにかとみればヤエムグラ、柔らかそうに見えるが触ってみると少しザラツとする。確かにヤエムグラだ。別の場所ではカキドオシが葉を一杯広げていた。オドリコソウ、ホトケノザも少しだが咲いていた。陽ざしがないのでオオイヌノフグリは青い花びらを閉じている。そのそばにはタネツケバナの可憐な白い花が開いていた。種もみの準備をする時がきたよと知らせているのだろうか。



見た目は柔らかそうなヤエムグラ



ニワトコはすつとのびた枝に丸い葉目がポコポコとついている。あふれるような生命力を感じられる葉芽だ。コブシの芽も随分ふくらんで春を待っている。馬酔木（アセビ）の花は日当たりのよさそうな所ではすでに咲いていた。広場では紅梅は満開、白梅もかなり咲いてかすかに良い香りがした。

←生命力を感じられるニワトコの芽

空堀のそばにたつムクノキ、木肌がボロボロになっているが、よく見ると日当たりの良い方はボロボロに剥けているのに、日陰になる側はむけていない。この違いは日当たりによるのだろうか？曇った空を見ながらフト思った。

今日の根木内はまだ冬、少し春といったところでしょうか。陽ざしが弱いせい、何となく寂しい観察会だった。



コブシのふわふわの芽



紅白の梅



ムクノキの木肌がボロボロなのはなぜ？

3月の湿地の観察会は、、、

3月24日（土）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/3/24 実施)～

参加者: 6名



ジャヤナギの芽を観察

桜の開花が始まり、一気に春めいてきた。雲は多いが青空ものぞき、風もさほど冷たくない。

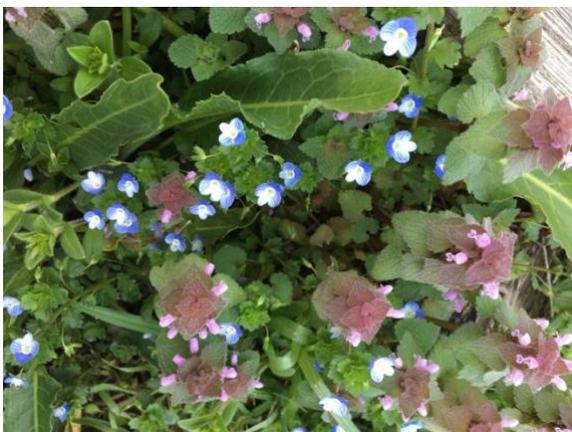
ホオジロの声が聞こえる、どこにいるのかと探していたら川向こうの木にとまって、さかんに鳴いていた。まださえずりではないが、そろそろ一筆啓上も始まるのだろう。

ヤナギの芽吹きが美しい。葉として伸びていく芽と花になるものがあるようで、いつもは素通りしてしまうジャヤナギをしばらく観察する。

イヌシデはオバナをたくさん下げて新芽の装い。ミズキも新芽が出たところで初々しい感じ。モミジイチゴはすでに白い花を咲かせている。ニワトコも葉を出している。すでにブロッコリー様の花も出ており、白く咲いているものもあった。



モミジイチゴの花



オオイヌノフグリの青い花

地面でも新しい葉が一面にひろがっている。ミゾソバ、カキドオシ、ハコベ、ヤエムグラ、ムラサキケマン、ヨモギ、セリ、それぞれ絨毯のようだ。ケキツネノボタン、ハルジオン、ギシギシの葉もあちらこちらに。日の光をあびてオオイヌノフグリの青い花が美しい。オランダミミナグサ、タネツケバナも花の数が増えている。昨夜の雨の名残りか草の間にはキラキラ光る玉が見られ、まるでダイヤモンドをちりばめたようだ。

田んぼの中にはそれぞれ一本ずつたが、タガラシ、アゼナも顔をだしていた。いつも虫を捜すコナラの木のあたりにはツマグロオオヨコバイが盛んにとびまわっていた。ヨコヅナサシガメも木肌にへばりついていた。

ヒ、ヒ、ヒと声が聞こえ赤茶色の鳥がとまった。ジョウビタキのみだ。しばらく山側と川の方とを行き来して目を楽しませてくれた。コゲラの声、シジュウカラもやってくるが、今日はなぜかうグイスの声は聞こえない。陽気につられてどこかへお出かけしているのかな。



ツマグロオオヨコバイ



ヨコヅナサシガメ



白い毛を運ぶヤマガラ

ムクドリは集団でやってきて草の間で盛んについばんでいた。アセビの花はもうたくさん咲いている。これを食べるとほんとに酔っぱらうのかな？といつも思うが実際にくわえてみようとは思わない。

広場ではコブシ、サクラが美しい。高い梢にシジュウカラ、そしてヤマガラ。ヤマガラは下におりてきて、散歩の犬が残したものの、白い毛をくわえてとんでいった。巣の準備をしているのだろうか。春ですね。



アセビ（馬酔木、馬が食べて酔っ払うと言われているのは葉っぱ）



春ですね

4月の湿地の観察会は、、、

4月21日（土）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）